

栗駒山の火山活動解説資料（平成 20 年 6 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・地震や微動の発生状況（表 1、図 2～3）

栗駒山を震源とする地震活動は低調な状態が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

なお、14 日に岩手県内陸南部で地震（M7.2）「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」が発生し、その後、栗駒山の近傍でも活発な余震活動が続いています。

・上空からの観測（図 4）

16 日に陸上自衛隊東北方面總監部の協力で上空からの観測を行いました。その結果、旧火口、湯気山、昭和湖などの状況に特段の変化はなく、静穏な状態であることを確認しました。

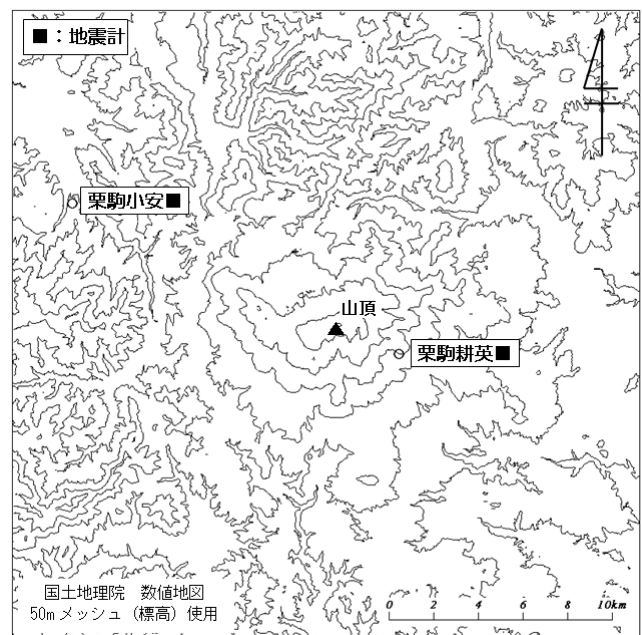


図 1 栗駒山観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 7 月分）は平成 20 年 8 月 8 日に発表する予定です。

資料は、気象庁のデータその他、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

表1 栗駒山 火山性地震・微動の月別回数

	2006年			2007年												2008年					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
地震回数	5	2	0	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	22	1
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2008年6月の火山性地震・微動回数は、平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴い、栗駒山の火山監視用の「栗駒耕英(こうえい)」が観測不能となったため6月13日までの回数です。

なお、平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴い、栗駒山の火山監視用の「栗駒耕英(こうえい): 山頂から南東約3km」が観測不能となり、これに替わる観測点として山頂から北西約10kmに地震計「栗駒小安(おやす)」を設置し、7月2日18時から監視を行っています(図1)。

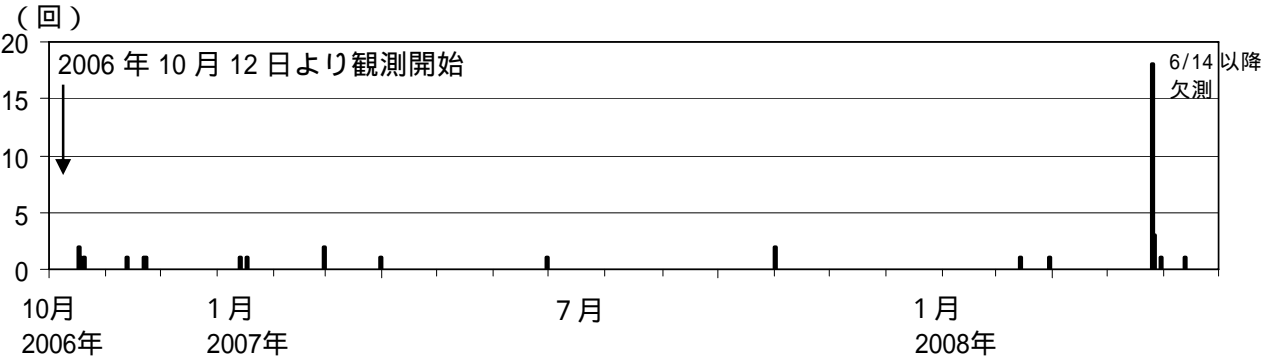


図2 栗駒山 日別地震回数(2006年10月~2008年6月)

2006年10月12日から観測開始。2008年6月14日から平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震に伴い欠測。

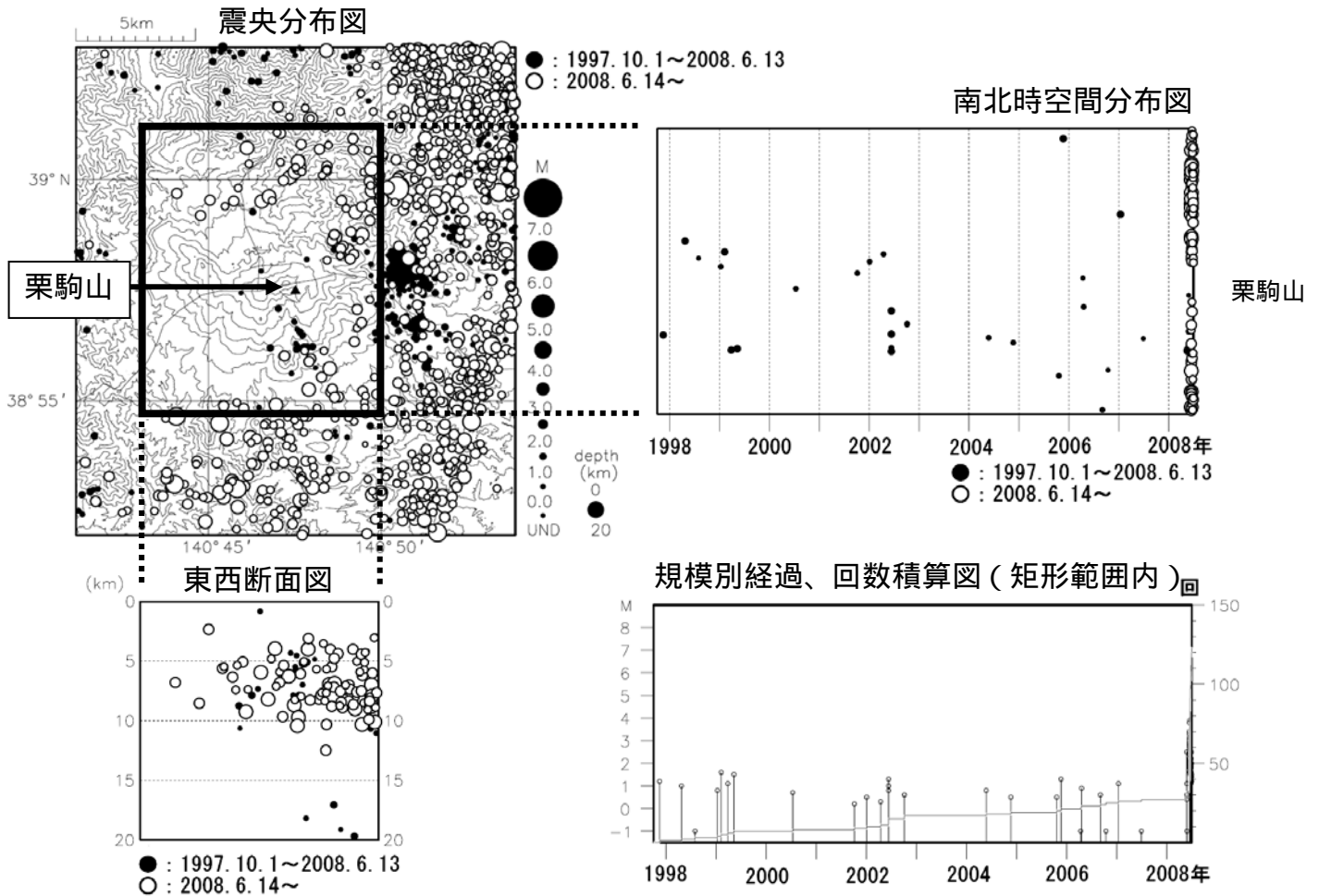


図3 栗駒山周辺の地震活動(1997年10月~2008年6月)

注) 2001年10月以降、検知能力が向上しています。

M(マグニチュード)は地震の規模を示します。

図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。

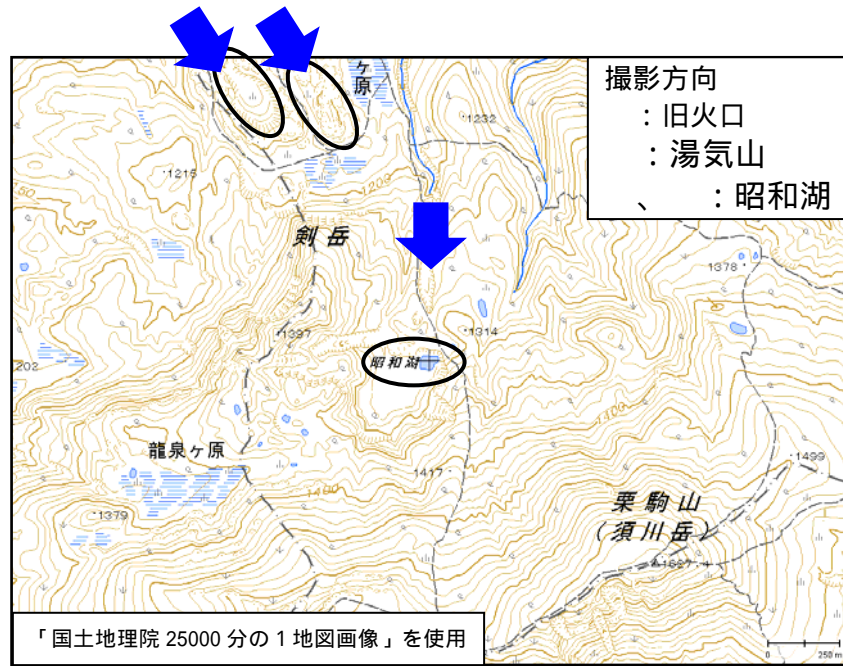


図4 栗駒山 上空からの観測

陸上自衛隊東北方面総監部の協力により2008年6月16日に実施しました。
その結果、旧火口、湯気山、昭和湖などの状況に特段の変化はなく、静穏な状態であることを確認しました。